

第4号 2010年6月28日号

# JICAガーナ・ソニー連携ニュースター ワールドカップ・パブリックビューイング

## はじめに

### 目次

はじめに

先週のできごと

23日@アトゥオビクロム

エイズ予防啓発活動

PV(ガーナ vs ドイツ)

24日@アコアセ

エイズ予防啓発活動

PV(日本 vs デンマーク)

19日@コフォリデュア(第3号の続き)

今後の予定

エイズ予防啓発活動  
& PV  
@アトゥオビクロム



## JICA& Sony Public Viewing in Ghana: Football against HIV & AIDS

先週も数々の感動がありました。ガーナは強豪ドイツに惜しくも0 - 1で敗れたものの辛くも決勝リーグ進出を決め、見違えるようなチームになった日本もデンマークに快勝して2回目のベスト16です。ワールドカップでの日本の通算得点は9点、その3分の1を決めた試合はガーナの大人も子どもも応援してくれました。

26日(土)の決勝リーグ第1戦ではアメリカを延長の末下し、初のベスト8。アフリカの誇りと希望を背負い快進撃は続きます。

(所長 山内)

## 先週のできごと

アクラとクマシを結ぶ幹線道路から未舗装の小路に入り村を2つ越えてやっと着くのがクワフ・サウス郡にあるアトゥオビクロムという、今回のイベントの会場のある村です。ここは電気が通っておらず、ほとんどの家庭にテレビがありません。6月23日(水)に行われたガーナ対ドイツ戦のパブリック・ビューイングイベントは、「村人にとって生涯忘れることの出来ないような素晴らしいひと時を提供したい」という関係者一同の強い思いがあり、この村で行われました。

郡役所等郡関係者や村長による開会の辞の後、ソニーが開発したアフリカ仕様のボールが村の中学校に贈呈され、そのボールを使用してのサッカー大会でイベントの幕は開けました。同郡で活動するベボン劇団は、HIV陽性者への差別・偏見撲滅をテーマとし、力強い演技が印象に残るダンス劇を披露しました。HIV陽性者はHIV陽性でも仕事や家事など支障なく陽性でない人々同様の生活を送ることができると、自らの体験を交えて観客に訴えました。

その後に行われたイス取りゲームは、1位になるともらえる商品、サッカーボールの形をした掛け時計を巡って白熱。イスを取れなかった人もHIVに関するクイズに答え、正解するとHIVの教材などがもらえ、誰もが楽しみながらHIVの基礎知識を学べる仕組みが工夫されていました。

1800人もの人々が見守る中、ガーナ対ドイツ戦は残念ながら0 - 1でガーナが負けてしまいましたが、同時に行われていたセルビア対オーストラリア戦でセルビアが勝ったため、そのセルビアに既に勝っていたガーナは決勝リーグ進出が決定。このニュースがラジオや携帯電話で人々に伝わり、すぐに観客は元気を取り戻し、興奮冷めやらぬまま帰宅しました。



また、この日のパブリック・ビューイングのハーフタイムでは短期隊員の小林みずほ隊員が制作したビデオがソニーの持ち込んだ大画面で上映されました。イベント準備や当日の様様を記録した、アトゥオピクロム村の人々がたくさん登場するビデオで、画面が変わるたびに観客は歓声をあげて喜んでいました。

イベントに来訪くださった地元ブライソ選挙区選出の国会議員は、「多くのガーナ人が自らの HIV ステータスを知らない。自分のステータスを知ることは予防、治療の重要な第一歩である。」と、エイズ検査受検を村の人々に奨励くださいました。この結果も手伝ってか、この日は 301 人もの人々が検査を受け、40 代男性 1 名が陽性反応を示しました。村の酋長も「良い機会なので、私もエイズ検査を受けてみました。このような素晴らしいイベントを提供してくれた JICA、ソニー、PPAG には大変感謝しています。今後も HIV 啓発活動がこの村で続くよう、協力隊員やコミュニティのボランティアをサポートし続けますよ。」と自ら語ってくださいました。



前述の国会議員はまた、「ガーナの国会議員でさえ、HIV エイズに関する正しい知識を持っていない人が多い。HIV に感染したらすぐに死んでしまうと信じている議員さえいる。我々国会議員も教育されるべきである。」とも述べ、エイズ啓発活動の重要性を訴えました。

今回中心となって活動してくれた林朝子隊員(20/4 次隊・エイズ対策)は当日も最後まで走り回り、企画、準備、実施で大変な思いをしましたが、小林隊員や地元のボランティア、学校の先生方に支えられ、イベントを大成功に導いてくれました。「今回の一連の活動を通じて、地元のボランティアの能力が飛躍的に向上したように感じます。自ら考えて主体的に動いてくれるようになったのが嬉しいです。」と林隊員は手堅い成果を感じているようでした。

(企画調査員 山口)

## エイズ予防啓発活動 & PV @アコアセ

6月24日(木)のイベントは田中裕子隊員(20/3 エイズ対策)が中心となり、今回の連携イベント短期隊員の小林みずほ隊員と準備してきました。会場はアコアセの幼稚園と小中高がひとつの敷地にある学校の校庭が会場。全校生徒は約 3000 名、これはコミュニティの人口約1万人の 3 割に相当するとのこと。電気はきていますが、イベント中に停電になったり安定していない様子でした。

朝 10 時頃今日のイベントを知らせるマーチングとダンスパフォーマンスから元気よく始まったイベントは、ヘルストークへと続き、マラリアなどの感染症予防、栄養などについてボランティアが熱心に説明していました。また、同時並行で血圧チェックやエイズ検査とカウンセリングが行われました。午後からは郡長、ナナ、ガーナヘルスサービス、教育省の代表が参加してオープニングを行ったあと、地元中高生によるエイズに関する正しい知識とコンドームの使用など予防方法を伝えるために創作された劇が演じられました。ワイヤレスマイクを順番に使いながらなかなかの熱演でした。そのあと、エイズに関するクイズ大会が始まると遠巻きにしていた人の輪がぐぐっと小さくなって、我先に手を挙げてMCに指名してもらおうとみんな必死でした。三択クイズでエイズに感染リスクなどに関する質問でした。全員正解、それぞれがTシャツをもらって嬉しそうでした。この時点で 1400 人の人々が集まっていました。





次はサッカー大会ですが、時間がおしてきたので 15 分ハーフで実施。全員サッカーシューズを履いて気合いが入っています。応援にも熱が入ります。ところどころ芝は生えていますが、でこぼこの敷地はコントロールがちょっと難しそうです。熱戦はスコアレスのドローでした。PKやる気まんまんでしたがパブリックビューの準備のために仲良く引き分けにて終了。

スクリーンを立てる準備を始めると子どもたちが集まってきてじっと見ています。グラウンドではべこべこのボールを蹴って遊んでいたり、走り回っている子どもたちを横目にヤギが草を食んでいるのどかな風景のなかで着々と準備は続きます。風が強くなってもスクリーンが飛ばされないように、背後に置いた車にロープでしっかり固定しておきます。場数を踏んだスタッフは手際よく作業を進めていきました。



約700人の観客の前でいよいよパブリックビューイングが始まります。最前列に座らせてもらった子どもたちの目は大きな画面に釘づけ。6時半キックオフ。きょうはカメルーンとオランダの試合の予定でしたが、残念ながらカメルーンは敗退決定済みのため、村長など地元有力者に根回しして、日本戦 PV の了解を取り付けました。日本の立ち上がりはちょっと心配。不安がよぎります。段々暗くなりスクリーンがくっきり浮かび上がる頃。本田選手のフリーキックが決まり、子どもたちの歓声が上がります。ソニーチーム、撮影隊の日本人たちからも大歓声。試合中日本のキーパーがセーブすると歓声が上がり、ガーナ人も日本を応援していました。遠藤の 2 点目が決まり前半を終わって 2-0 でした。ハーフタイムでは昨日に続き、小林隊員がきょうのイベントの準備やマーチング、劇などのイベントの様子を編集した映像を流しました。自分や知り合いが映ってるのであちらこちらで歓声が上がっていました。後半はデンマークに 1 点返されたものの、本田選手とアシストで 1 点を加えて 3-1 で試合終了。一緒に観戦していたナナとがっちり握手して、次戦での健闘をお互いに願いました。ゲームが終了した後も興奮は去らず、しばらくの間ガーナ人も日本人も踊りの輪の中で喜びを分かち合っていました。

田中隊員も一日じゅう走り回って関係者への指示や作業の確認をしてイベントを成功させてくれました。「ガーナの人たちに支えられてここまでやることができました」とホッとした様子でした。

(所長 山内)

## PV(ガーナ vs 豪州)

### 先週号の続き

注目のガーナ第二戦目は 6 月 19 日(土)イースタン州の州都、コフォリデュアにてパブリック・ビューイングが行われました。先週号でご紹介した協力隊員チームと地元ユースチームのサッカー試合で始まり、その後、近くのホールへ移動、正式にイベントの開会式が行われ、地元の酋長が議長を務める中、JICA、ソニー、PPAG のほか、コフォリデュアのあるニュージャビン郡の知事、さらにイースタン州州知事補もスピーチを行っていただきました。彼らは JICA、ソニー、PPAG に感謝の意を表すとともに、HIV について正しい知識を身につけること、感染予防策を講じること、そして自身の HIV ステータスを知ることの重要性についても強調されました。

続いて HIV 陽性者に対する差別や偏見の撲滅を目的とした劇が上演された後、ガーナの若者の中で大人気のポップシンガー、Screwface(スクリューフェイス)がヒットソングを歌い始めると会場は大盛り上がり。子どもたちや若者が舞台前に出て踊りだし、ホールは一転してライブ会場に。Screwface は HAPE プロジェクト\*で制作した差別・偏見撲滅ソングに参加し、その後もプロジェクトの活動をサポートし続け、HIV のメッセージを発信し続けてくれたアーティストです。

イベントの最後を飾ったのはガーナ対オーストラリア戦のパブリック・ビューイングでした。試合前はガーナ楽勝との見方が大勢を占めており、ちょっとしたガーナチームの攻撃や守備に会場内は大騒ぎでしたが、結果は1-1の引き分け。予想外の苦戦に少し皆気を落としたがそこはガーナ人の良いところ、すぐに「別に負けたわけじゃないし、次にドイツに勝てばいい!」と気を取り直し、元気に帰っていきました。

(企画調査員 山口)

\* HAPE プロジェクト:  
 マスメディアを通じたエイズ教育プロジェクト(Project for HIV and AIDS Prevention through Education)。  
 2005~2009年 JICA 支援によりガーナ国家エイズ委員会をカウンターパート、ガーナ家族計画協会(PPAG)を実施機関としてイースタン州とアシャンティ州の 181 コミュニティで複数のメディアを利用した多様な啓発活動を行いました。

## W 杯結果と予定

2010年6月						
S	M	T	W	T	F	S
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

2010年7月						
S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

[6月]  
 13日(日) Akosombo **ガーナ** vs セルビア [1-0]  
 15日(火) Apeguso ブラジル vs 北朝鮮 [2-1]  
 18日(金) Ayenyah イングランド vs アルジェリア [0-0]  
 19日(土) Koforidua **ガーナ** vs オーストラリア [1-1]  
 Asikasu カメルーン vs デンマーク [1-2]  
 21日(月) Kusi スペイン vs ホンデュラス  
 23日(水) Atuobikrom **ガーナ** vs ドイツ [0-1]  
 24日(木) Akoase カメルーン vs オランダ [1-2]  
 26日(土) Huntado **ガーナ** vs 米国 [2-1]  
 27日(日) Nkawie イングランド vs ドイツ [1-4]  
 29日(火) Betiako スペイン vs ポルトガル

[7月]  
 2日(金) Moglaa 準々決勝(**ガーナ** vs ウルグアイ)  
 3日(土) Tamale 準々決勝(ドイツ vs アルゼンチン)  
 Bunglumg 準々決勝(日本??? vs 西・葡の勝者)  
 6日(火) Mbanayii 準決勝  
 7日(水) Nwodua 準決勝  
 10日(土) Ajumako 3位決定戦  
 11日(日) Agona Swedru 決勝

## 編集後記

26日の夜は、タイ料理屋でガーナ vs アメリカを観戦しました。同点で迎えた後半 35 分、部屋の入り口から同じテレビを見ていたガーナ人の店員に「氏が緑茶を頼むと、「え、今はないでしょ」と言わんばかりの笑顔で回答。その笑顔が忘れられません。運ばれてきたのは延長戦に入る前の休憩時間でしたが、最後は一緒にガーナの勝利を祝うことができよかったです!

(角崎)